



寒川町公共施設等総合管理計画の 進捗状況について



寒川町

寒川町公共施設等総合管理計画策定経緯

平成24年12月 笹子トンネル天井崩落事故

高度経済成長期に建設された公共施設の老朽化への不安感



全ての公共施設に対して対策を検討

平成26年4月

「公共施設等総合管理計画」の策定に取り組むよう国から各自治体へ指示

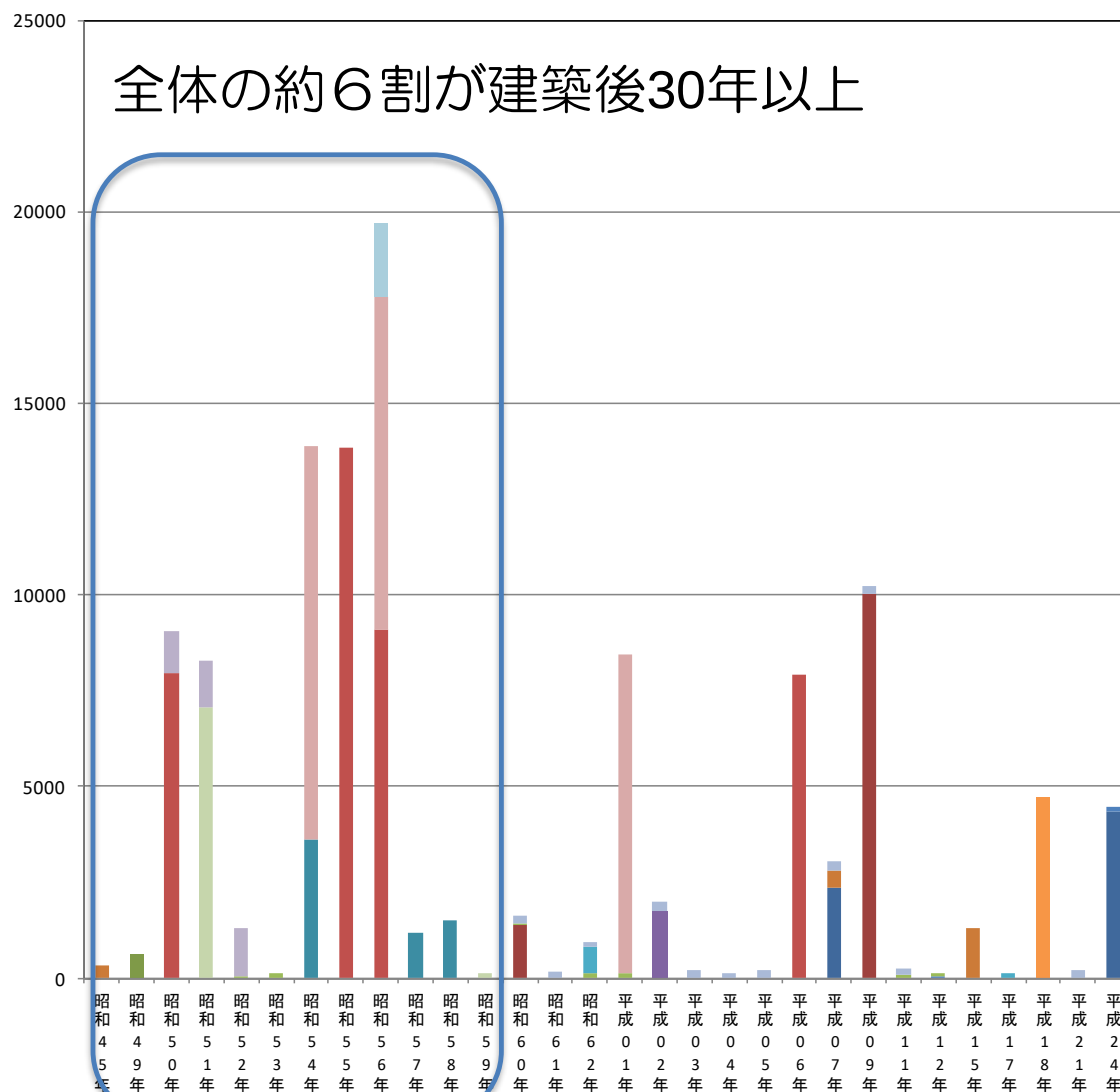


公共施設等総合管理計画の策定

平成29年3月

「寒川町公共施設等総合管理計画」策定

施設の老朽化問題



出典：「寒川町公共施設等総合管理計画」

公共施設の延床面積
116,022㎡（平成26年3月
末時点）

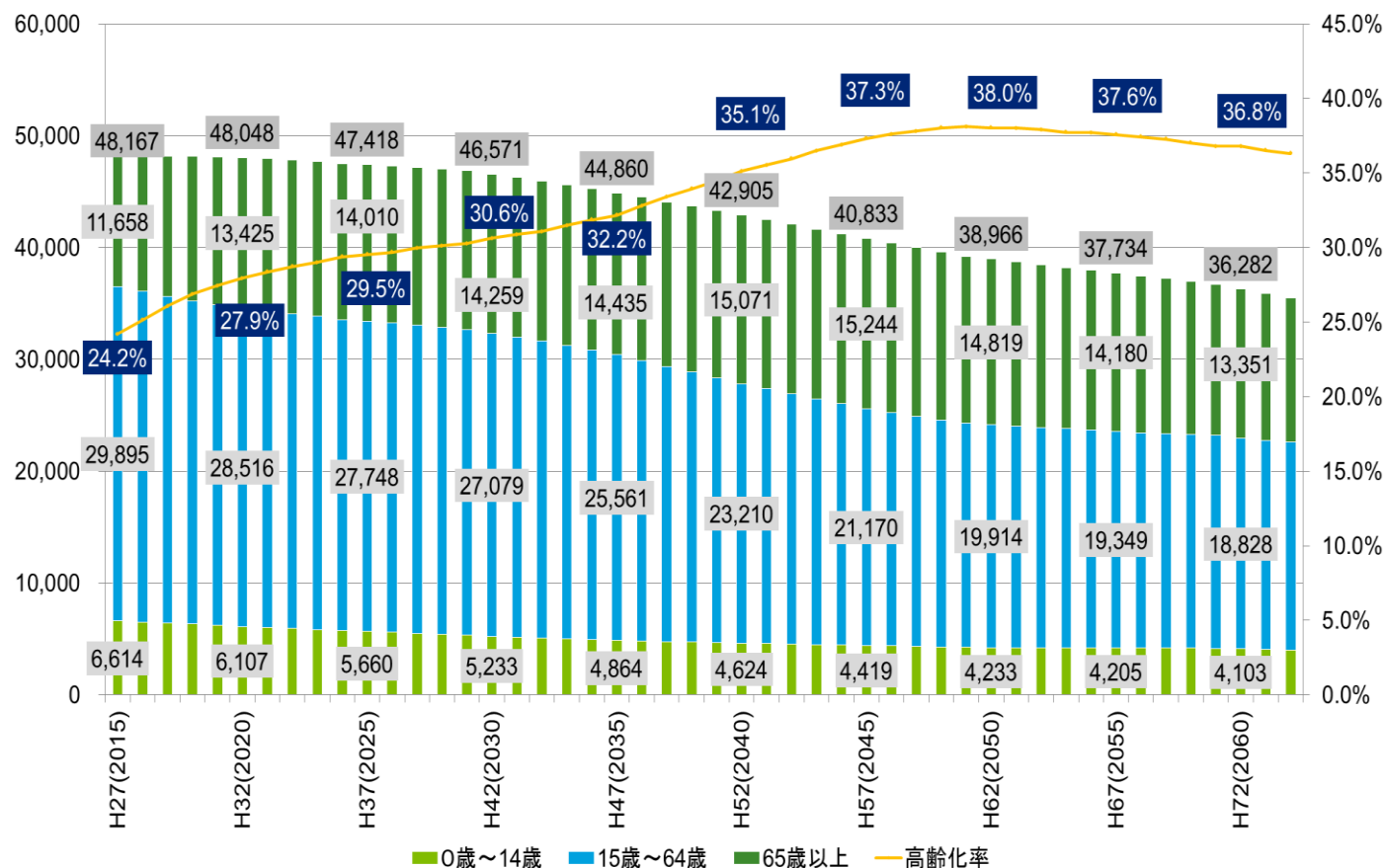
建築年度の分布
昭和59年以前（建築後30
年以上）の建物
69,820㎡



老朽化率：約48%

「老朽化率＝減価償却累計額／取得原価」
で算出

少子高齢化・人口減少社会の到来



今後40年で・・・

◎人口1万人減少 ↘

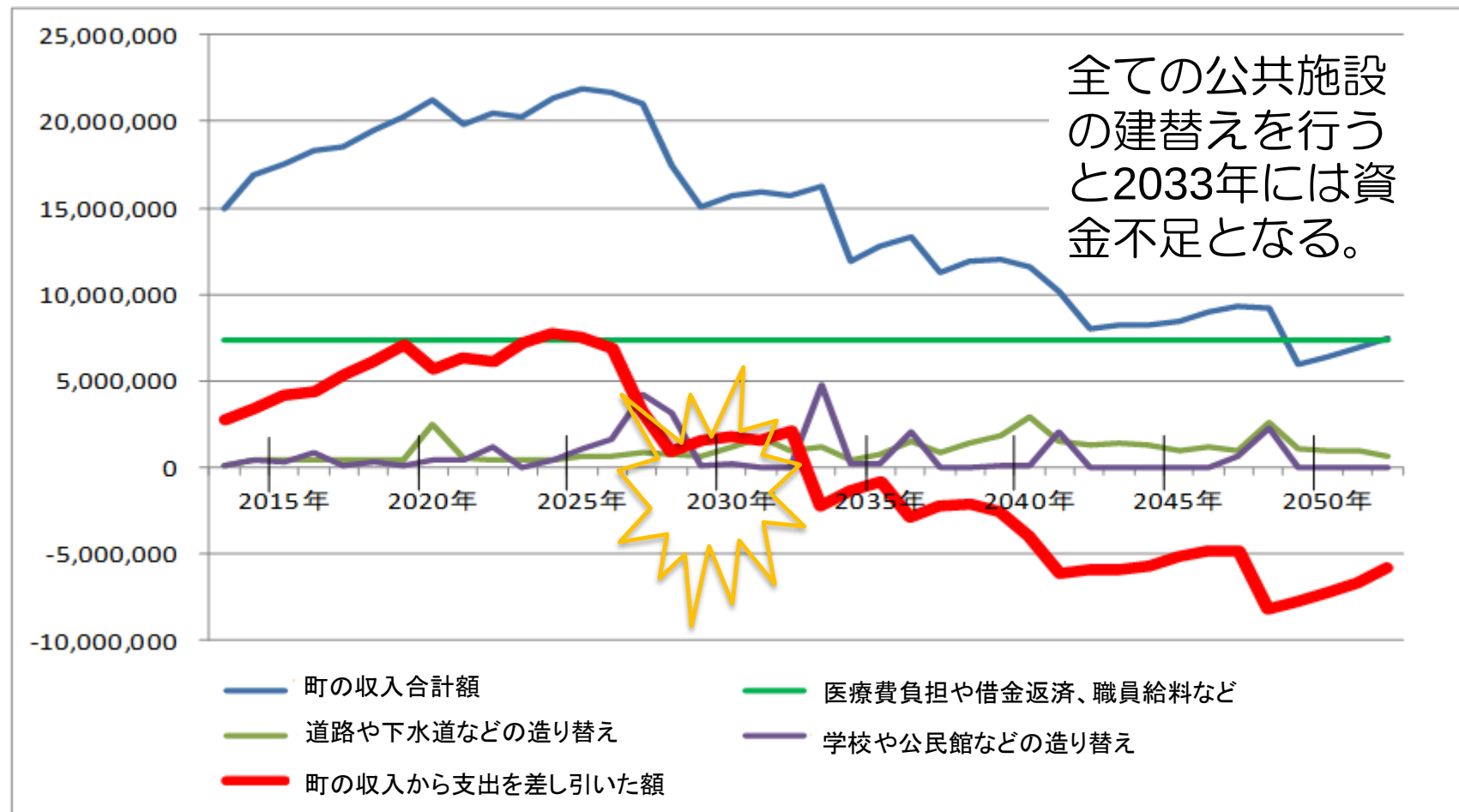
◎15歳～64歳 ↘
「働き盛り世代」の
人口1万人減

◎高齢化率 ↗
24%→37%

「寒川町の将来の人口推計結果」

出典：「寒川町公共施設等総合管理計画」

公共施設の建替え財源不足



出典：「寒川町公共施設等総合管理計画」

なぜ今「公共施設等総合管理計画」なのか

◎厳しい財政状況

平成22年～平成27年の間で
社会保障費
約6億円増加

今の寒川町

◎施設の老朽化

老朽化率約48%
建物の約6割が築30年以上

◎少子高齢化・人口減少社会
高齢化率約24%→約37%
15歳～64歳「働き盛り」
世代1万人減少

将来の寒川町

◎人口増加期に集中して整備した建物の耐用年数が一斉に到来
↓
建替え時期が集中

◎更に厳しくなる財政状況
町税収入の減少
高齢化により社会保障費増加

予想されること

◎公共施設の建替財源不足
全施設を建替えると総額約
789億円
平成45年には約22億円の
資金不足

両立が不可能！

平成29年3月策定

「公共施設等総合管理計画」が目指すこと

行政が維持する施設の優先順位付け

行政が維持すべき施設

- ①学校教育施設（町内小中学校）
- ②保健福祉施設（健康管理センター、子育てサポートセンターなど）
- ③行政・環境・消防施設（役場、広域リサイクルセンター、消防本部など）

複合化、多機能化を進め機能は維持しながら現在の保有量を減らす施設

- ④地域活動施設（地域集会所、地区集会所）
- ⑤文化スポーツ施設（町民センター、南部・北部文化福祉会館、総合体育館など）

学校教育施設の複合化・多機能化

- 地域コミュニティの核となる学校へ
- 地域集会所、学童保育は小学校へ複合化
- 文化福祉会館、行政機能の一部を中学校へ複合化

インフラ資産（道路、橋梁、下水道など）の効率的な維持補修

壊れる前に補修を進める「予防保全的修繕」を行い、コストを抑えた維持管理

総合管理計画の実行プランである公共施設再編計画の策定に向けて

平成29年3月策定「総合管理計画」にて、公共施設の維持・管理
方法や存続の方向性を決める

各施設の劣化診断

専門家による各施設の老朽化度や
傷み度合いを検査



施設の管理状況評価

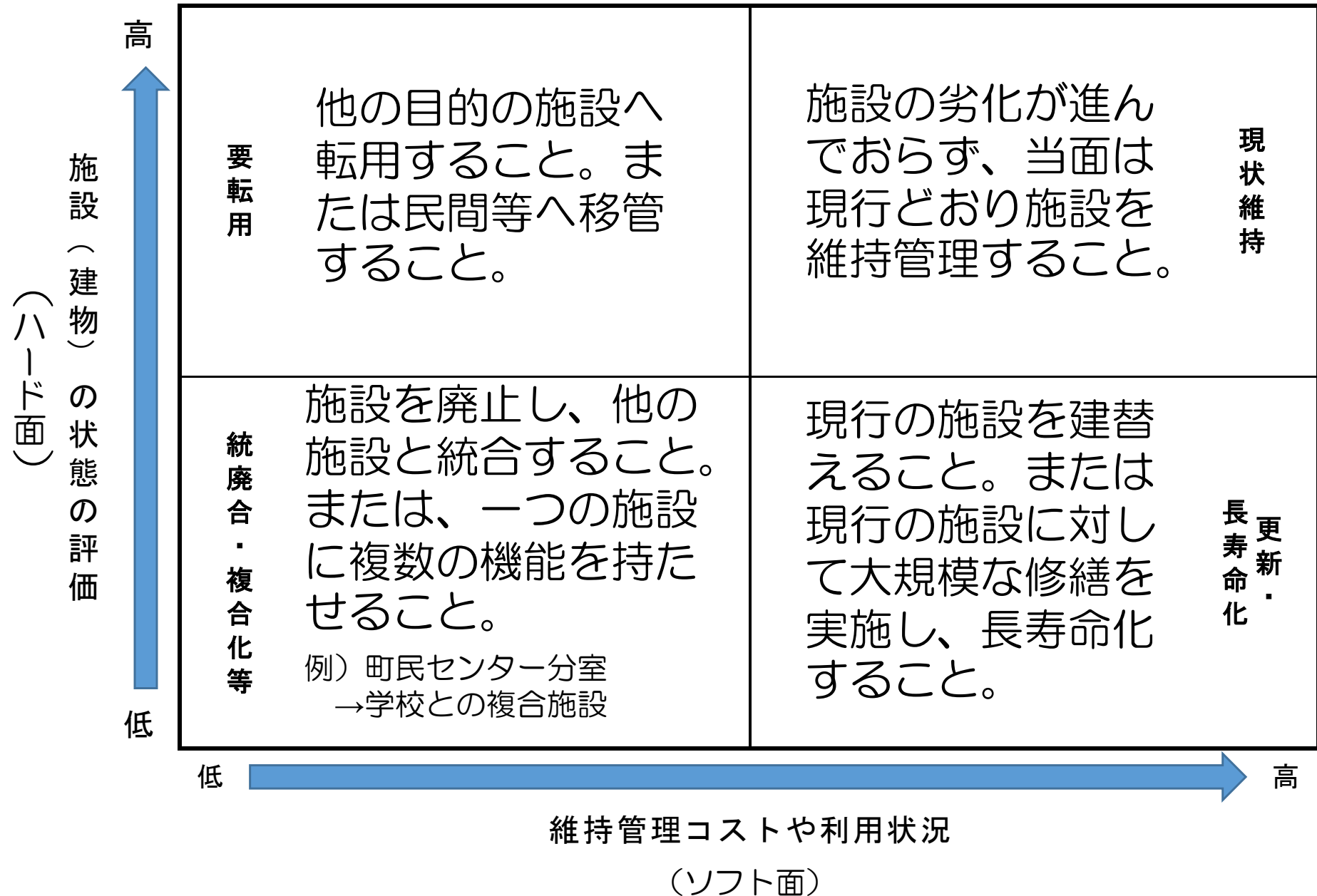
利用率やコスト、施設の目的
などを数値化し可視化



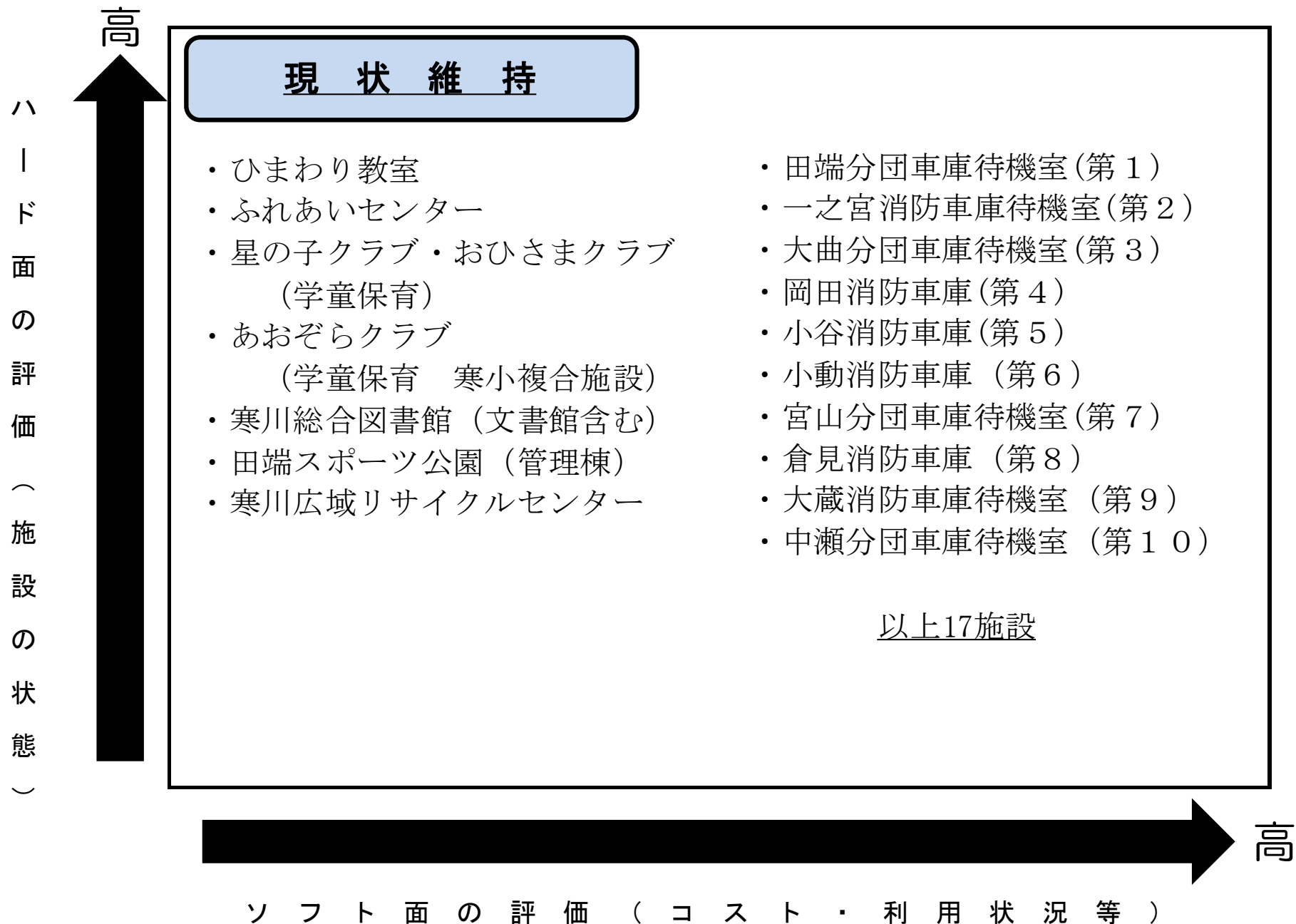
総合評価の実施

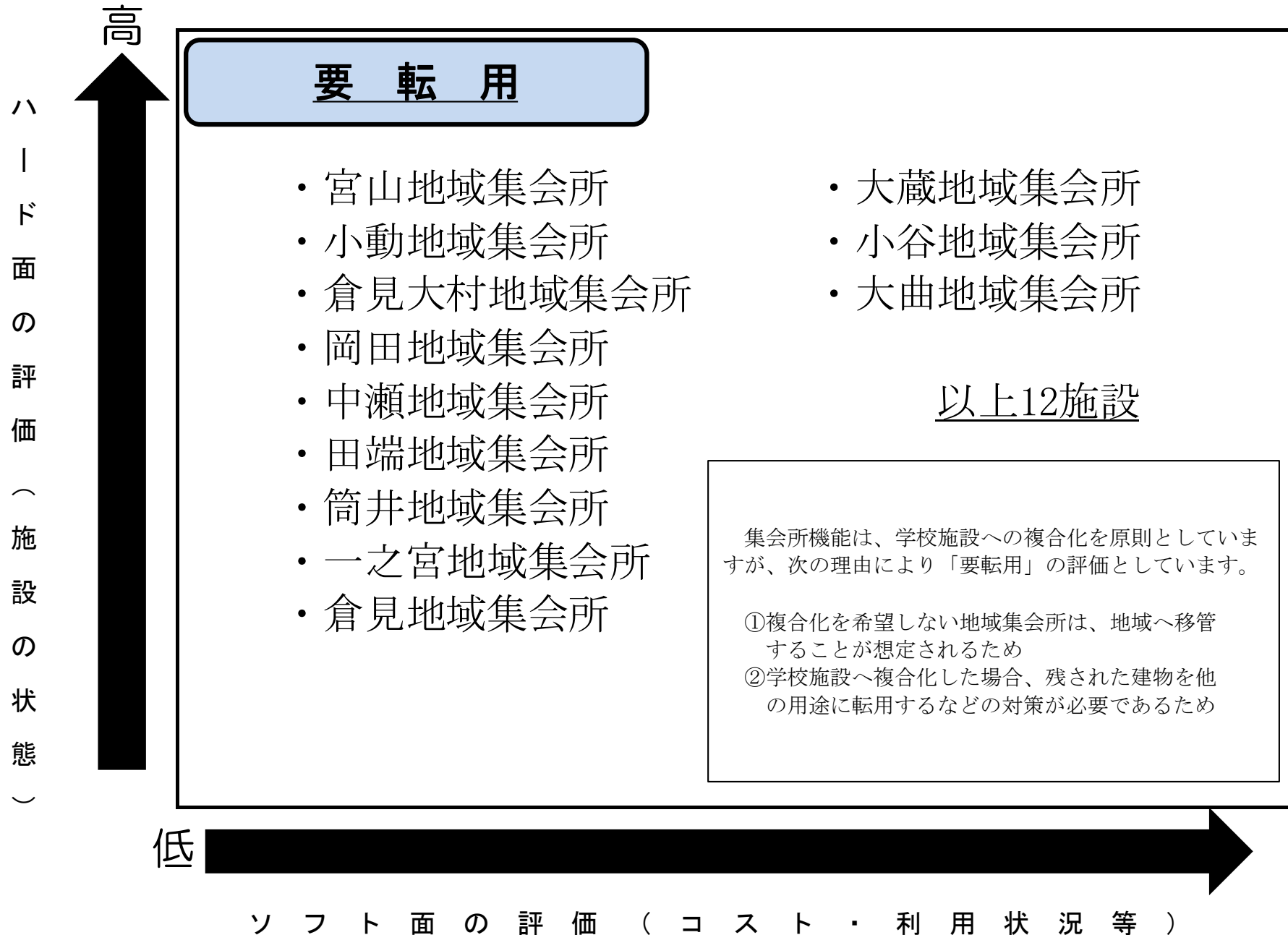
診断結果と管理状況評価から総合評価を実施
4つの項目に分類し方向性を検討

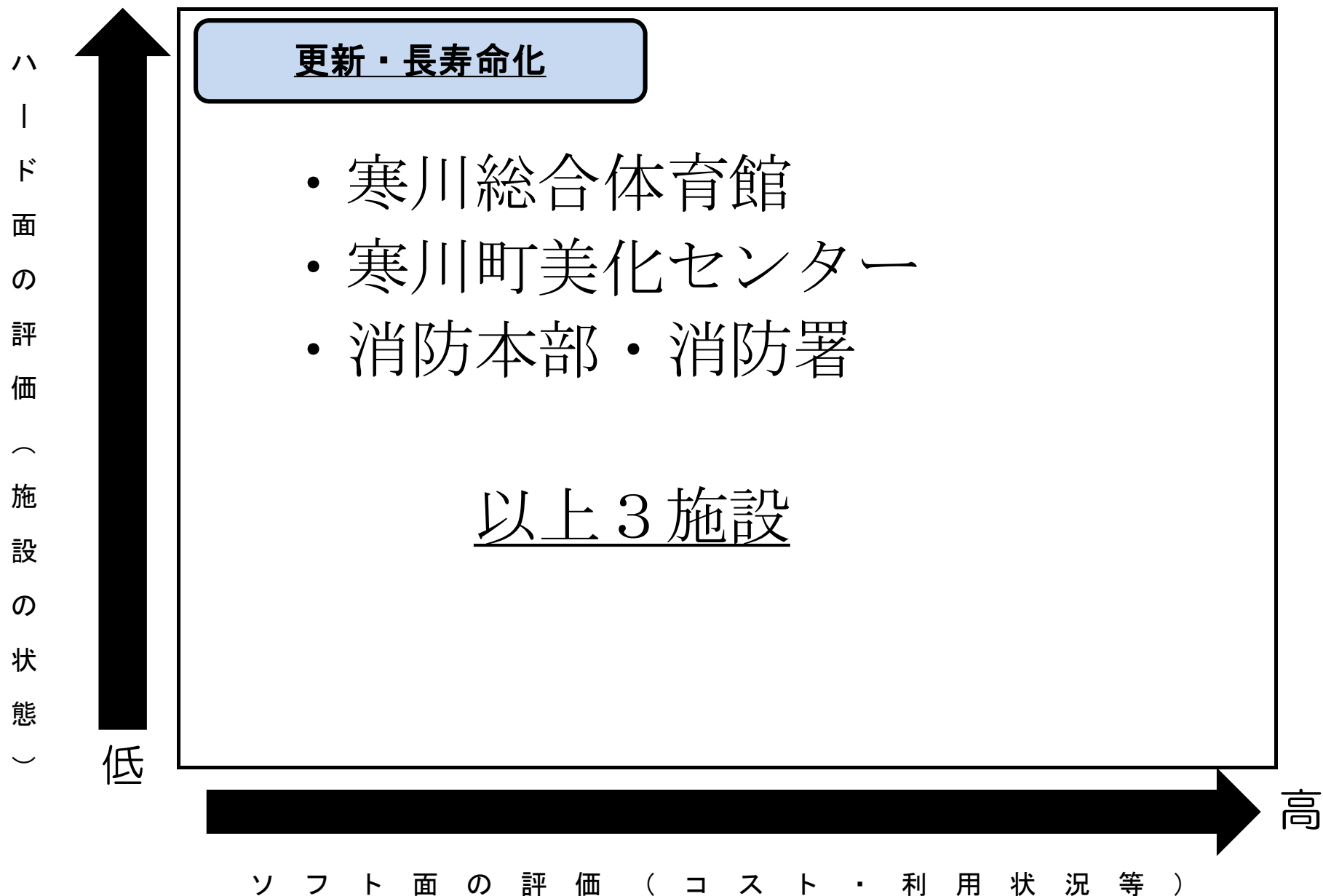
施設評価（四分類評価）の定義

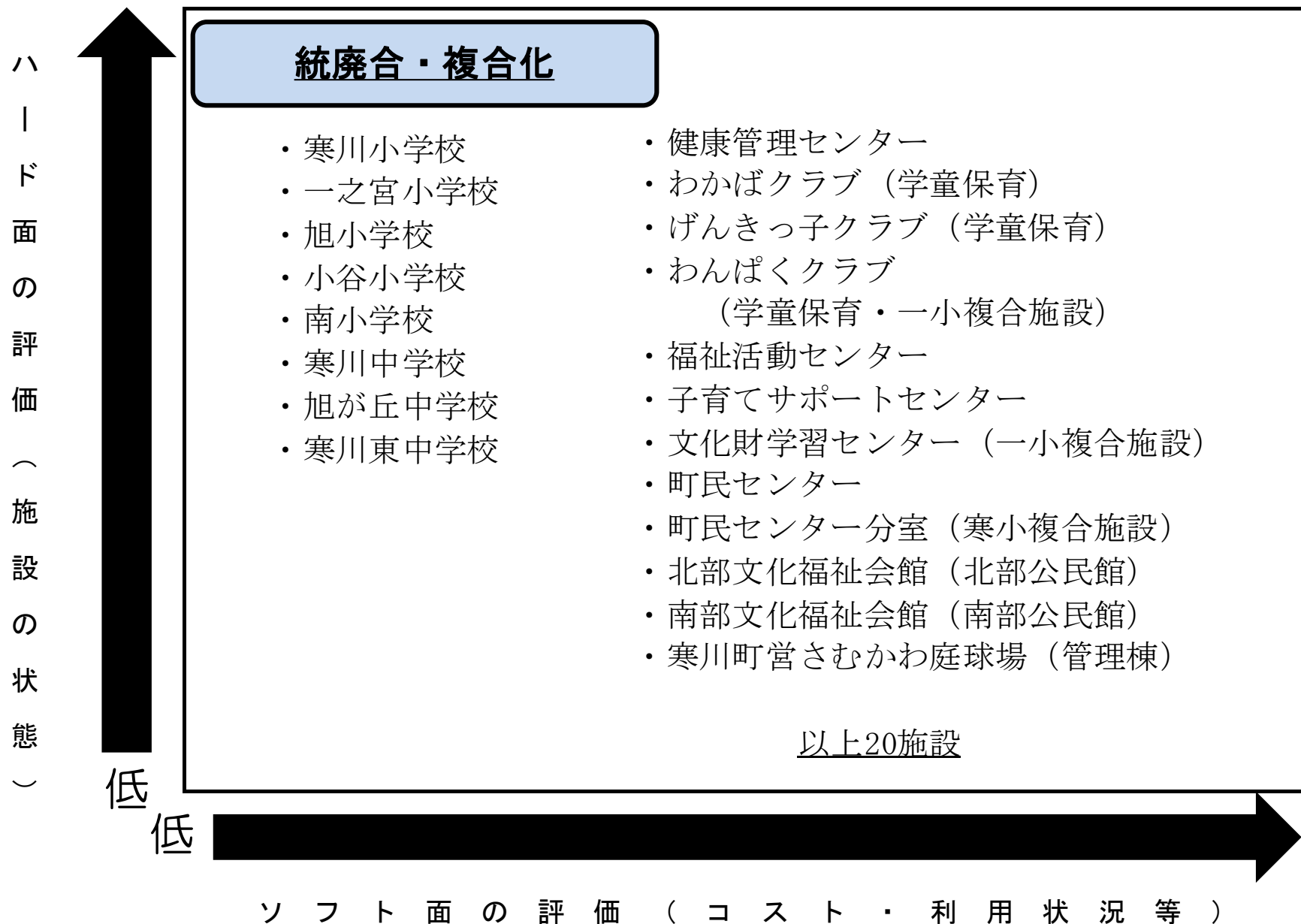


町の施設評価結果案（四分類評価）

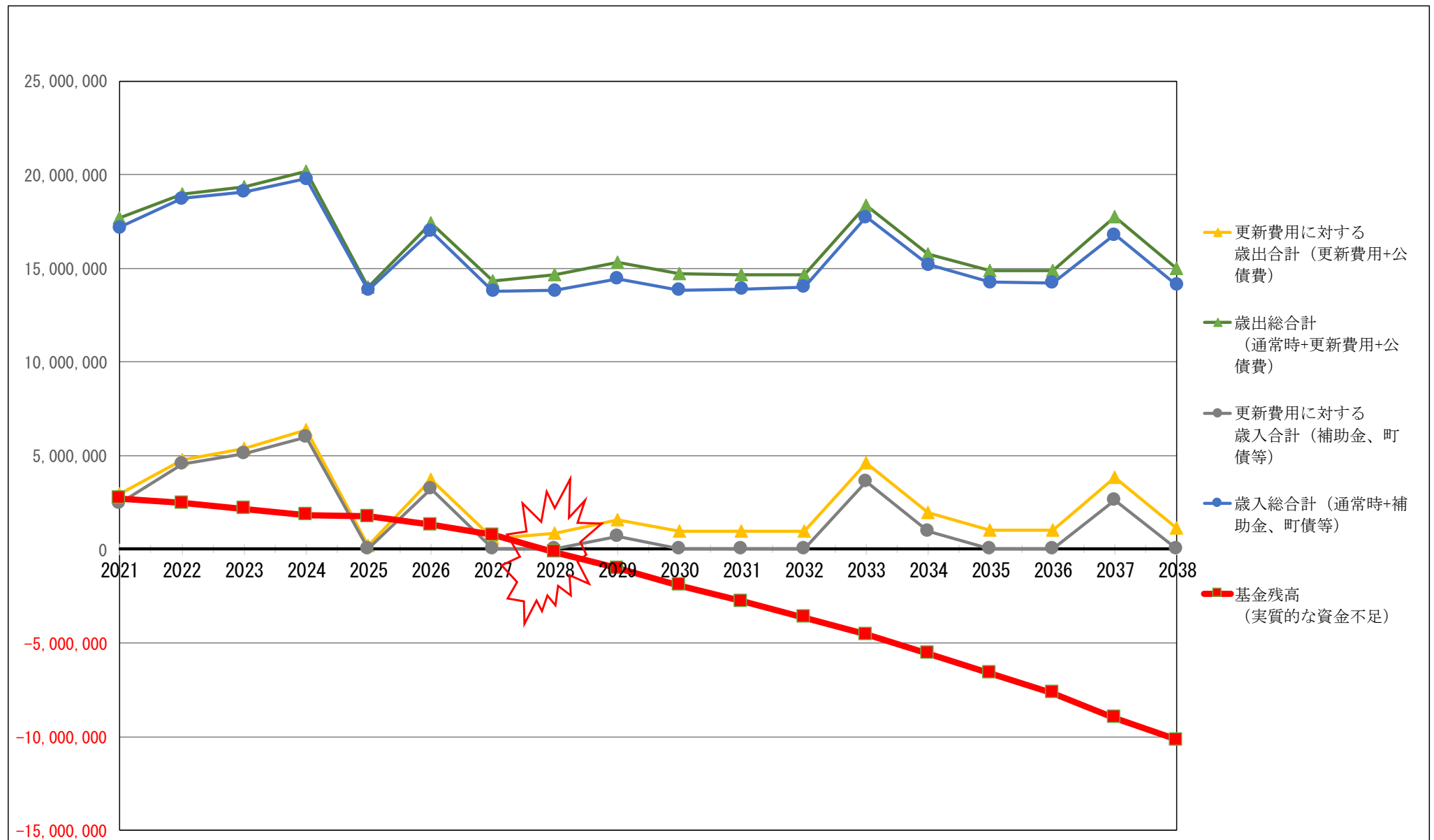








施設評価後の財務シミュレーション



一之宮小学校





役場分庁舎





健康管理センター



福祉活動センター



町民センター





北部文化福祉会館



南部文化福祉会館

総合体育館



各小学校の児童数推計

◎寒川小学校

年度	人数	学級数	面積 過不足	年度	人数	学級数	面積 過不足
2020	516	18	▲788.98	2040	419	14	90.12
2025	485	16	▲351.20	2045	402	12	531.44
2030	440	15	▲130.54	2050	364	12	531.44
2035	417	12	531.44	2055	325	12	531.44

※1～3年生は35人学級、4～6年生は40人学級で計算

※「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令による面積」に対する過不足を表記

各小学校の児童数推計

◎一之宮小学校

年度	人数	学級数	面積 過不足	年度	人数	学級数	面積 過不足
2020	335	12	1436.94	2040	190	6	3104.28
2025	312	12	1436.94	2045	170	6	3104.28
2030	271	12	1436.94	2050	152	6	3104.28
2035	221	8	2547.32	2055	132	6	3104.28

※1～3年生は35人学級、4～6年生は40人学級で計算

※「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令による面積」に対する過不足を表記

各小学校の児童数推計

◎旭小学校

年度	人数	学級数	面積 過不足	年度	人数	学級数	面積 過不足
2020	727	22	▲2393.52	2040	540	18	▲1576.96
2025	688	21	▲2189.38	2045	513	18	▲1576.96
2030	633	19	▲1781.10	2050	521	18	▲1576.96
2035	589	18	▲1576.96	2055	597	18	▲1576.96

※1～3年生は35人学級、4～6年生は40人学級で計算

※「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令による面積」に対する過不足を表記

各小学校の児童数推計

◎小谷小学校

年度	人数	学級数	面積 過不足	年度	人数	学級数	面積 過不足
2020	491	17	▲713.60	2040	367	12	389.70
2025	445	15	▲272.28	2045	358	12	389.70
2030	406	12	389.70	2050	346	12	389.70
2035	381	12	389.70	2055	336	12	389.70

※1～3年生は35人学級、4～6年生は40人学級で計算

※「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令による面積」に対する過不足を表記

各小学校の児童数推計

◎南小学校

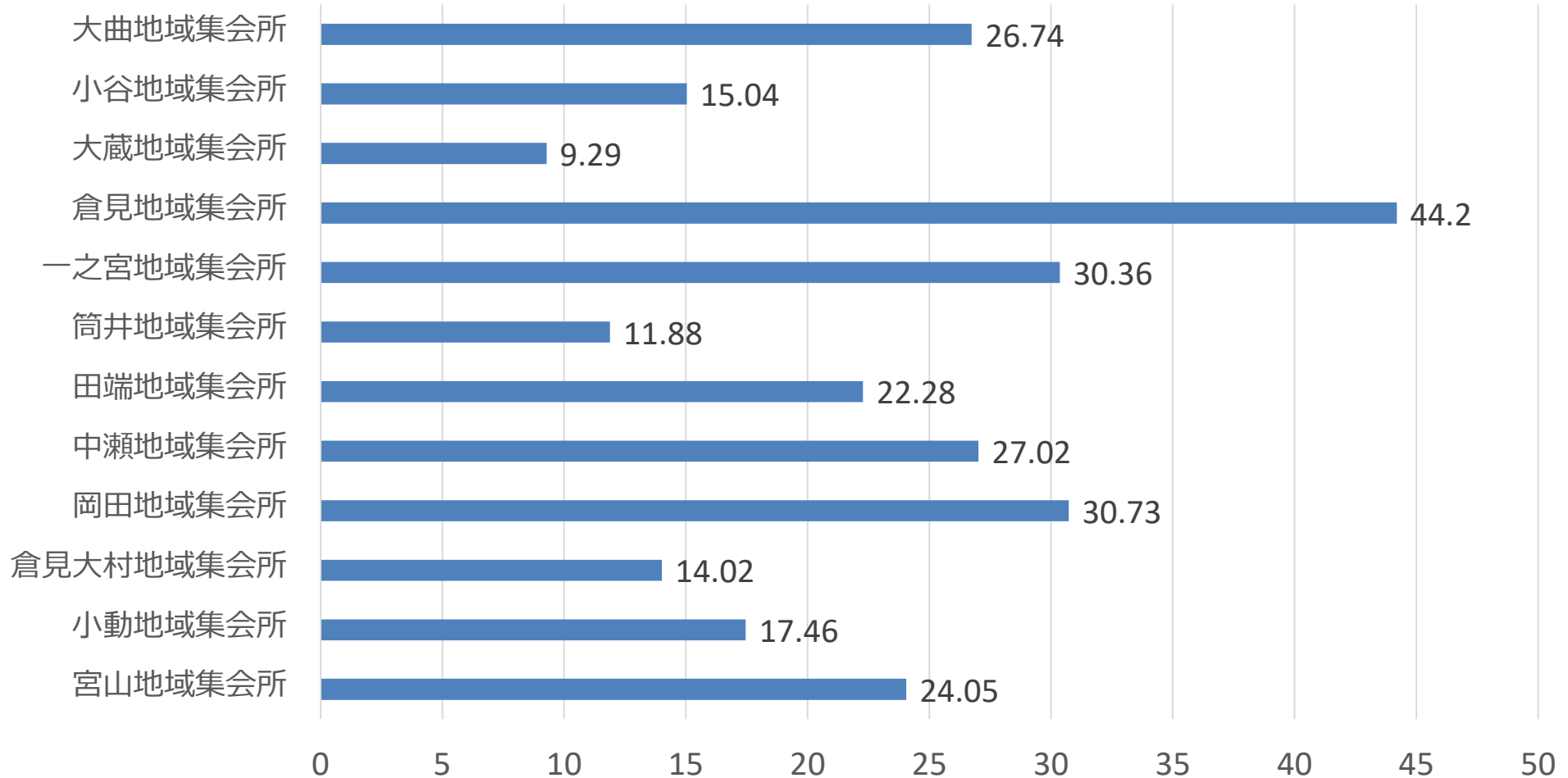
年度	人数	学級数	面積 過不足	年度	人数	学級数	面積 過不足
2020	500	16	404.30	2040	385	12	1286.94
2025	500	18	▲33.48	2045	384	12	1286.94
2030	425	12	1286.94	2050	385	12	1286.94
2035	397	12	1286.94	2055	369	12	1286.94

※1～3年生は35人学級、4～6年生は40人学級で計算

※「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令による面積」に対する過不足を表記

地域集会所

利用率(%)



※各集会所の中で最も利用率の高い部屋を集計。

課題と対策

分類	施設名	課題	今後必要と考える対策
学校教育施設	旭小学校	・外壁を中心に劣化が進行 ＝鉄筋の露出を伴う外壁の爆裂や、コンクリートのひび割れが多い ・南棟Aは建築後52年経過、南棟Bは建築後48年経過 ・小学校5校の中では、年少人口の減少幅が一番小さい ・法令に基づく床面積が現在でも不足。今後も不足の予想のとおり	・増床または建替え ＝増築の場合は、既存不適格により既存施設の改修が必要となる可能性がある ＝建築後の経過年数から、建替えも視野に
	一之宮小学校	・外壁を中心に劣化が進行 ＝鉄筋の露出を伴う外壁の爆裂や、コンクリートのひび割れが多い ・南棟は建築後37年経過、北棟は建築後52年経過 ・小学校5校の中では、年少人口の減少幅が一番大きい ・法令に基づく床面積は、現在でも余裕があり、今後も余裕面積が出る予想 ・人口推計に基づく学級数予測では、2040年には1学年1学級となる予測	・学校の在り方の検討
	旭が丘中学校	・外壁を中心に劣化が進行 ＝鉄筋の露出を伴う外壁の爆裂や、コンクリートのひび割れが多い ・南棟Aは建築後44年経過、南棟Bは37年、北棟は46年、技術棟は46年 ・大規模改修工事実施済みだが、実施から年数が経過しているため、劣化が進んでいる。	・長寿命化実施時期の検討
	寒川東中学校	・外壁を中心に劣化が進行 ＝鉄筋の露出を伴う外壁の爆裂や、コンクリートのひび割れが多い ・建築後30年経過しているが、大規模改修工事未実施 ・経過年数30年にしては劣化の進行が早い	・長寿命化実施時期の検討

課題と対策

分類	施設名	課題	今後必要と考える対策
行政・環境・消防施設	寒川町役場	・屋上防水の劣化により、雨漏り箇所複数	・長寿命化または新たな複合施設内に、役場機能を含めることの検討
	美化センター	・設備機器類の長寿命化	・長寿命化のための計画的な修繕

分類	施設名	課題	今後必要と考える対策
地域活動施設	地域集会所	・低利用率だが、地域活動の拠点であること	・学校施設への複合化、又は地域への移管の検討 ＝自治会との調整が必要

課題と対策

分類	施設名	課題	今後必要と考える対策
文化・スポーツ施設	町民センター	・外壁、屋上防水を中心に劣化が進行 ・耐震補強工事以外の大規模改修工事が未実施	・新たな複合施設内に、ホール機能を含めることの検討
	北部公民館 南部公民館	・建築以来、大規模改修工事未実施のため、劣化が進行 ・100人収容の集会室以外、利用率が低い。	・他施設との複合化 ＝現行の利用状況を考慮して、施設の絞り込みが必要
	総合体育館	・内壁、開口部等の劣化 ・建物外側よりも建物内の劣化度が高い。	・計画的な長寿命化（建物内側の修繕に加え、建物本体、設備機器類も含め） ・民間資本活用の検討
	総合図書館	・現行機能を維持した図書館なのか、集客機能も備えた「多機能化」した図書館を目指すのか（今後実施する長寿命化に向けた大規模改修工事の際に、多機能化するのか）。	・アンケート調査等の実施

課題と対策

分類	施設名	課題	今後必要と考える対策
保健福祉施設	わかばクラブ	・20人を超える待機児童の発生 ・旭小学校は、町内5校の中では、年少人口の減少幅が一番小さい ・女性の就業率の向上により、利用者ニーズは今後も高まる（＝学童保育全体に）	・学童クラブの増設 ＝第一候補は旭小学校敷地内 ・旭小学校を建替える場合はわかばクラブを含めた複合化、多機能化も検討 ＝一時的に間借りで回避する方策も必要
	ひまわり教室	・事務室と相談室が兼用となっているため、相談中は職員が事務を進められない点 ・職員の休憩スペースが無い点 など、現行の間取りでは機能の不備がある	・新たな複合施設内に、ひまわり教室の機能も含めることの検討
	子育てサポートセンター	・今の施設の賃貸借期間は平成32年度まで ・1973年建築、建築後45年経過 ・施設内では離乳食以外の飲食ができない。親御さんから飲食スペース、カフェなどの要望あり ・子育て支援のニーズの高まり、行政からの支援策拡充に伴い、利用者ニーズは高まる可能性あり	・新たな複合施設内に、子育てサポートセンター機能も含めることの検討
	健康管理センター	・外壁、防水機能の劣化により、雨漏り箇所複数	・新たな複合施設内に、健康管理センター機能を含めることの検討
	福祉活動センター	・外壁塗装、防水機能の劣化 ・外部階段の発錆 ・内壁のひび割れ ・民間においても、同様の事業を展開する事業所あり	・新たな複合施設内に、福祉活動センター機能を含めることの検討 ・民間譲渡の可能性検証

ご清聴ありがとうございました。